

農作物で食農教育



3月12日と13日、北海道のJAきたみらいの齊藤和雄代表理事専務らが黒石市と平川市を訪れ、馬鈴しょと玉ねぎの贈呈式を行いました。両市にそれぞれ馬鈴しょ1800^{kg}、玉ねぎ360^{kg}が寄贈され、学校給食の食材などに用いられます。

2月には当JAとJAきたみらいが北海道の北見市、訓子府町（くねっぶちょう）、置戸町（おけどちょう）を訪問し、当JAはりんご、JAきたみらいは馬鈴しょと玉ねぎを贈呈しました。



北見市役所の贈呈式



黒石市役所の贈呈式（3月13日）



平川市役所の贈呈式（3月12日）

地域農業教育の充実に



大川記念農業教育基金協会（佐藤龍海会長）は3月25日、平川市役所で農業等図書費寄贈を行いました。

同協会は、旧JA津軽平賀の組合長として長年活動してきた故・大川豊氏が、地域農業の活性化のため、今後の農業後継者やJA役職員の教育事業に活用してほしいと自身の退任慰労金を寄贈したことをきっかけに発足しました。

佐藤会長が目録を長尾忠行市長に渡し、長尾市長は感謝状を贈るとともに、長年の寄贈に感謝の意を表しました。



目録を受けとった長尾市長（中央）

生産者へ融雪剤配布



県南のJAゆうき青森は2月、大雪による農業被害を受けた津軽地域の6JAに対して、製造している融雪剤「木炭粉（1袋/15kg）」を200袋ずつ寄贈しました。

当JAに配布された木炭粉は協議の上、水稻、りんご、高冷地野菜、トマト（ミニトマト含む）の上位出荷者5人に10袋ずつ配布しました。生産者は「融雪剤の配布はとてありがたい。春作業を適期に行えるよう、有効的に活用したい」と話しました。



融雪剤を受け取る生産者（右）